

### 南信州・希少野生植物 保護対策会議開催

平成27年11月28日に、下伊那農業高校で開かれました。

地域で自然保護活動をしている団体の方、希少野生動植物保護監視員（維管束植物対象）の方、自然保護レンジャーの方、自然観察インストラクターの方のほか、警察、市町村の皆さんが一堂に会し、ササユリを中心として、それぞれの活動の情

報交換を行いました。阿南町の殿林湿原を守る会では、地元の小学生や、地域の人々が里山の下草刈りに協力をしてくれているが、「希少種の保護」という観点からは理解が進んでいないと感じるとの意見がありました。

どの団体も、人集めには苦労をされていることがうかがわれ、人々にどのような希少種とその保護に興味を持ってもらうのが大きな課題です。

また、飯田警察署生活安全課の徳竹警部補からは、希少野生植物の盗掘の検挙に当たっては、①行為者に違法性の認識があること②客観的な証拠があることが必要であるとの解説がありました。

会議の後は、下伊那農業高校の菊原文典教諭を中心に、生徒とともにササユリの培養に関する勉強会がありました。ササユリの球根の一部である「りん片」を無菌培地で培養する方法で、下伊那農業高校では、既に実際に花を咲かせることに成功しています。

遺伝的系統を守る観点から、他所の個体を自然に返すわけにはいかないため、自分たちの管理する地域のササユリの培養を希望する団体は、必要な手続を行って球根を持参し、様々な栄養が詰まった培地に実際に植え込み、培養を開始しました。



自生地自然环境の保全が第一ですが、人手の不足など様々な課題があり、その環境がいつまでも保たれるかは未知数です。種の保存の必要性を考えると、培養という手段がその一助となるかもしれないかもしれません。さまざまな知識を得て、それについて意見を持っていただくことが保護活動をしていく上でも大切なことではないかと思えます。

今回培養を開始した個体は、数ヶ月に一度の試験管の移動などを経て、早ければ3年半程度で花が咲きます。

#### 平成27年環境保全に関するポスター

飯田・下伊那地区入選作品



高校生の部  
優秀賞 阿智高2年 原昌也さん



小学生高学年の部  
入選 豊丘北小4年 原龍之介さん

# 人と生きものつながり創生 全国フォーラム開催

長野県、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)及び信州生物多様性ネットワークなどは、地域における生物多様性の自立的な保全体制の構築に向けて、特に企業や市民の参画を促すため、平成27年9月19日に木曾郡木曾町で「人と生きものつながり創生全国フォーラム」を開催しました。

## お知らせ

○本紙への寄稿をお待ちしております。ご自身の活動の記録、普段思っていることなど、自然環境に関することなら何でも結構です。400字から700字程度の文章と、関連のある写真(電子データ)をお送りください。

県内外で活動する自然保護団体や企業のパネル展示では、著名な企業や、県内の高校からも出展がありました。ステージ上では、「多様な主体の参加と連携による生物多様性の保全」と題して、環境ジャーナリストの枝廣淳子氏による基調講演があったほか、県、企業、研究者、自然保護団体の代表者による、「企業や市民にとつての生物多様性保全の経済的価値」と題してのパネルディスカッションが行われました。

○今回から紙資源の節約と郵送費用の削減を目的として、当課にてメールアドレスを把握している皆さまには、電子メールにて本紙をお届けすることといたしました。ご理解いただきますようお願いいたしますとともに、メールアドレスをご提供に御協力ください。

# 南信州レジ袋削減協議会 総会開催

平成27年10月23日に、南信州レジ袋削減協議会の総会が開かれました。

南信州地域は、県内でもトップクラスのレジ袋の削減先進地で平成20年度に<sup>84.9</sup>パーセントだったレジ袋辞退率は、平成26年3月現在

在で<sup>92.4</sup>パーセントとなったことなどが報告されました。

全県でのマイバック等持参率が6割から7割程度である一方で、南信州地域での直近5年間のレジ袋辞退率は、90パーセント以上を維持しています。

## きずなフォーラム 「自然と人と法律」開催

生物多様性に関わっている団体等で構成されている団体である「生物多様性ネットワークずな」と県自然保護課は、第一回きずなフォーラム「自然と人と法律」環境法学を知ろう」を開催しました。

希少野生動植物保護監視員や自然保護レンジャーなど、県が委嘱している皆さまも集まりました。  
東京大学大学院の交

告尚史教授による「森林法・自然公園法から見た生物多様性」と題した基調講演に始まり、参加者が抱えている問題や成功した事例について話し合うワークショップが行われました。ワークショップでは、自然公園等の制度が複雑で難しいと言った意見や、公園の利用者や登山者に注意することの難しさを感じていることがうかがわれました。

平成27年環境保全に関する標語  
飯田・下伊那地区入選作品

### 小学生・中学生の部 最優秀賞

飯田市立追手町小学校2年 安静 彩陽子さん

エネルギー 水と電気は たからもの

### 高校生・一般の部 入選

飯田市 安藤 重男さん

ゴミ拾う あなたの勇気が 未来を救う